
男神異聞録デビルサバイバアッー！ 予告編

ままま

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

男神異聞録デビルサバイバアツ！ 予告編

【Nコード】

N1677M

【作者名】

ままま

【あらすじ】

予告編みたいな感じだけどうしたのか

この世には悪魔がいる。といっても俺はただ聞いただけである。親友とも言えるべき相手からなのだが・・・、その親友が最近宗教にはまっついていてね。何でも神様がなんたら悪魔がなんたら・・・、試練がどうのこうの。あと巫女ちゃんが可愛いらしい、ここ重要な。で、親友が妙に暑苦しく俺を勧誘してくるので集会とやらに参加してみたんだ。ケツして巫女さん狙いじゃない。まさかここから俺の道が変わるとは思いもしなかった。きつと俺詐欺とかにハマルタイプかも。

「え、なにあの頭のお花」

いや確かに可愛い。ええーっとなんだっけ？クズリユウアマネだったか名前は。心ではアマネちゃんと飛ぶことにしよう。さて、親友が参加している宗教の名前は”翔門会”という。王の中の王とやらを崇拜するナニコレ宗教だ。確かベル・ベリトだったか？ベルベルうるせえなあおい。どこかで聞いたことあるような気がするがまあいいだろう。

「ヒヤッハーアー!!」

で、隣にいる親友（仮）は理解不能な言語を使用して他者と見解を深めている様子。俺は特にすることもなく、橙色のローブを着ている集団の中妙に浮いている様な気がする。俺を含めて俺の周りの空気が違う。あ、俺もちゃんとローブを着ているから姿的なアレじゃない。みんなまっついてる空気が違うのだ。俺だけ”確実に違う”と言えるぐらい。

「であるからしてベル・ベリト様は」

だが周りの宗教人間達はその気配に感じているのかいないのか・・・、関係なく教祖様（アマネちゃんの父らしい、ここはお義父さんと呼ぶべきか）の有り難いお言葉を聞いている。それにしてもベル・ベリトか。なんか臭そうな名前だな。

「そこのあなた・・・」

「むお？」

窓も照明もない（蝋燭の灯りならある）奇妙な部屋のなかでのこの集会、やはりどうみても悪徳宗教です本当にありがとうございました！とか思っていると、噂のアマネちゃんが俺のほうにやってきた。気付くと集会は終わったらしく唯一のトビラからゾロゾロと出て行っている。なお親友はまだ教祖様（笑）となにやら話している。俺がスパイだと気付いたか！？

「あ、すみません帰り「少し待つてください」・・・え？」

何かよくわからないが止められた。なにかようか？まさか神を信じない俺を肅正する気なのか！？やめてよね僕が本気でしたら漏らしちゃうよ。速攻で

「あなたは悪魔に愛されています、お気をつけて」

「h a h a h a h a」

ごめん可愛い巫女さん（巫女服じゃないのが残念だ）と思っていたがこの娘電波です。可愛いからお付き合いたいものだが・・・、

それとこれは別の話だ。さすがに変な壺を買わされる予定はない。二度とこんな宗教とかかわるものか！？親友とかもうどうでもいいや、ただの一般人Aに繰り下げよう。

「し、失礼しました・・・」

で、退室して行く俺。教祖様の話を何も聞いていなかったが聞く必要もない。おお！そういうえはもうすぐ東京でドリー ちゃんのスが見れるじゃないか！！カメラを買い替えるべきか！？あ、金ねーわ。

それにしてもまさか、これがあんなことになるなんて・・・

突如封鎖された東京、彼はどうやって生き延びるのか・・・？

「封鎖とかWWWマジワロスWWW・・・え？まじ？」

悪魔に愛される、その本当の意味とは！？

「妾と契約しろ、今なら奴隷にしてやるぞ？ん？ほれ、雄は胸が大きいおなごのほうがいいのじゃろ？」

「すごく・・・大きいです・・・」

頭上に浮かぶ謎の数字とは！？

「俺だけ0とかWWWみんな6って、俺だけ仲間ハズレっすかあ！？」

彼と選ばれし者たちとの出会い！

「ねえ君ベル・デルって知らない？」

「またベルか？ベル・デル・・・おお！バルドルのこと？あの不死身の？」

再会する翔門会の可憐な巫女

「あなたは・・・」

「どうも悪魔に愛される男です、死にたい」

彼は一週間を生き残ることが出来るのか？

「喰らえ！！テトラカーン！！」

「戯け！お主も戦うのじゃ！」

そして知ってしまう、封鎖の真意を

「バ・ベルだあ？そんな幻想俺がぶっ壊す！！」

「妾の尻尾から出てきて言え」

彼と彼に集う仲魔たち（主に女性型）の最後の戦いが今！？

「うおおおおお！！！！くらえ！！ヤドリギ（c v 大山のぶ代）」

「ぐわあああ！？莫迦な！？このThe・不死身と呼ばれる俺が
！？」

ついに彼はたどり着く・・・

「これが・・・伝説の・・・？」

「ただのCOMPです」

七日の死のサイバル、彼の運命は！？

男神異聞録デビルサイバアツー！全国ロードショー！

俺の次回作にご期待下さい！！

(後書き)

ただこれを本当に書くかどうかはわからない

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1677m/>

男神異聞録デビルサバイバアター！ 予告編

2010年10月9日12時33分発行